タンカーの船首部への歩路に使用される FRP 製グレーチングに関する事項

改正要領

鋼船規則検査要領 C 編
船用材料・機器等の承認及び認定要領

改正事項

タンカーの船首部への歩路に使用される FRP 製グレーチングに関する事項

改正理由

鋼船規則検査要領 C 編附属書 C1.1.7-5.においては、船舶に繊維強化プラスチック (FRP) 製品を使用する場合の要件を USCG Marine Safety Manual を参考に規定している。また、IACS は、タンカーの船首部への歩路に使用される FRP 製グレーチングの防火要件に関する統一解釈 SC253 を 2011 年 12 月に採択しており、同統一解釈は既に上述の本会規則に取り入れている。

同統一解釈は、2015 年 6 月に開催された第 95 回 IMO 海上安全委員会 (MSC95) において承認され、MSC.1/Circ.1504 として回章されているが、同サーキュラーでは、タンカーの船首部への歩路に使用される FRP 製グレーチングの防火保全性について ASTM F3059-14 を参照するよう修正が加えられた。

このため、IACS は、MSC.1/Circ.1504 との整合を図るべく統一解釈 SC253 の改正を行い、統一解釈 SC253(Rev.1)として 2016 年 5 月に採択した。

今般、IACS 統一解釈 SC253(Rev.1)に基づき関連規定を改めた。

改正内容

タンカーの船首部への歩路に使用される FRP 製グレーチングの防火保全性は、ASTM F3059-14 による旨規定した。

改正条項

鋼船規則検査要領 C 編 附属書 C1.1.7-5. 表 1.3.1
船用材料・機器等の承認及び認定要領 第 2 編 7.4.2